

## オカムラグループの環境マネジメント

オカムラグループは、環境方針に基づいて環境経営を推進していくために、グループ会社を含めた組織体制を整備するとともに、環境マネジメントシステムの構築・運用を通じて、継続的な取り組み推進と環境パフォーマンスの向上を目指しています。

### 環境マネジメントシステムの構築・運用

オカムラグループは、グループ各社でISO14001\*規格に基づく認証を取得し、環境マネジメントシステムを構築・運用しています。オカムラの各部門とグループ各社に環境管理責任者を配置し、グループ全体として環境への取り組みを管理・推進する体制を構築しています。

また、社外の環境関連団体などと積極的に交流を図り、環境経営・環境管理などに関する新たな知見や最新情報の把握に努め、グループ全体の環境マネジメントのレベルアップに結びつけています。

\* ISO14001：国際標準化機構（ISO）が定める環境マネジメントシステムの国際規格

### 経営層・環境管理責任者によるマネジメント

オカムラグループ全体として環境経営を推進していくために、年2回開催されるサステナビリティ委員会において、環境長期ビジョンや環境中期計画の目標達成に向けた年間計画の確認と取り組みにおける課題等の討議を行っています。

また、グループ環境管理責任者会議を毎月開催し、環境関連の法規制や国際動向等への対応をはじめ、環境マネジメントシステムの運用状況、各社・各部門における課題や対策など、さまざまな事項について議論を行い、グループ各社間の意思疎通と情報の共有化を図るとともに、改善事例などを水平展開しています。

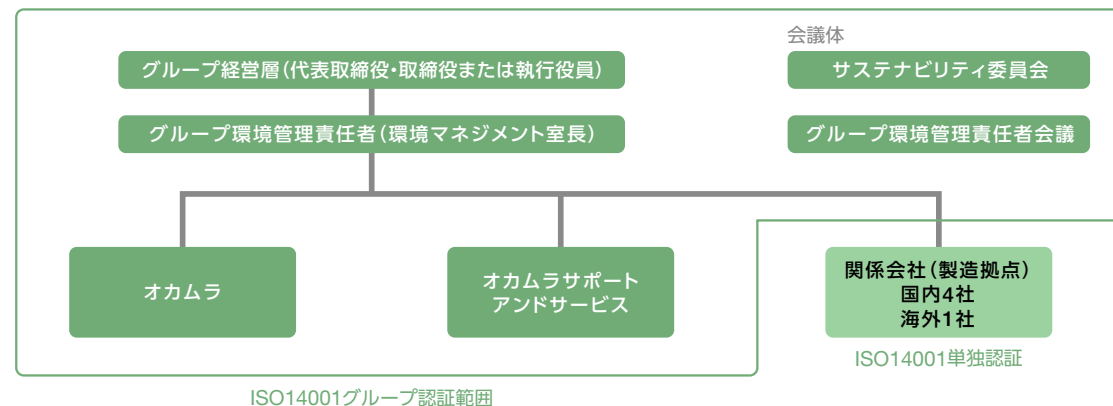
### 外部機関による審査と内部監査の実施

ISO14001規格に基づく審査は外部機関により毎年実施され、オカムラのグループ統合認証\*と関係会社（製造拠点国内4社、海外1社）の単独認証で有効性が確認されました。

また、グループ統合認証では各サイトの内部環境監査とグループ内部環境監査をそれぞれ年1回実施しています。監査結果はグループ内で水平展開を行い、グループ環境管理責任者会議とサステナビリティ委員会に報告し、環境マネジメントシステムの継続的改善につなげています。

\* オカムラのグループ統合認証：オカムラ、オカムラサポートアンドサービス

### オカムラグループの環境マネジメントシステム推進体制



## 環境教育・啓発活動

オカムラグループは、全ての事業活動において環境負荷低減活動を実施することを環境方針に掲げており、実際に活動を推進する従業員一人ひとりの意識向上を目的に、環境教育・啓発活動に注力しています。

### 体系的な環境教育の実施

従業員が、企業活動に伴う環境負荷、オカムラグループの環境方針や計画、環境マネジメントシステムに基づく取り組みな

どについての理解を深め、目標に向かって具体的な行動に移せるよう、新入社員・キャリア入社者を対象とする必修教育と、各部門がISO14001に基づきプログラムを整備した部門教育を行っています。

また、FSC®認証に関わる製品、資材を取り扱う部門では、年1回実施している内部監査・外部審査で指摘された事項について、改善し適正な運用を徹底するために、専門教育を実施しています。全従業員に対しては、ISO14001の教育の中にFSC®認証に関する項目を設け、制度の理解を促しています。  
(関連 [▶P.63](#) )

### オカムラの環境教育

種別	対象	名称	内容
必修教育	新入社員	新入社員研修	● 環境問題 ● EMS*1導入編:企業活動と環境負荷
		新入社員フォローアップ研修	● EMS活動実践編
	キャリア入社者	キャリア入社者研修	● 環境問題 ● EMS導入編:企業活動と環境負荷
	全従業員	メール配信/社内報	● カーボンニュートラルに向けた世間動向、オカムラの現状、取り組みなどタイムリーな情報提供
部門教育 (ISO14001による)	全従業員	一般教育	● 環境方針や全社の環境目的・目標・実施計画 ● グリーンオフィス活動
		専門教育	● 各部門ごとの環境目的・目標・実施計画 ● 著しい環境側面に応じた教育訓練
		管理者教育	● 管理者としてのEMSなど
FSC®教育 (CoC認証による)	全従業員	一般教育	● 認証制度の理解
	関連部門	専門教育	● 管理規定、手順の理解
体験型教育*2	全従業員 推進担当者	生物多様性・森林再生研修	● 生物多様性保全・森林整備(実習含む)
			● 「ACORN」活動推進のための知識

\*1 EMS:環境マネジメントシステム

\*2 体験型教育(詳細 [▶P.64](#) )

## サステナビリティ活動表彰制度

事業活動における環境負荷の低減、環境に配慮した製品・サービスの開発・提供に向けた意識の向上と実践を促すため、2003年度より環境活動表彰制度を設けて社内の優れた活動を表彰していましたが、2022年度に評価基準をSDGsの17の目標との関連性を加味して、3つの部門に分けて評価を行い表彰する制度に拡大しました。

### サステナビリティ活動表彰(2022年度)

(全表彰18件から抜粋)

表彰部門/受賞内容	受賞部門
<b>環境負荷低減・削減の部(設備、省エネ)</b>	
塗装乾燥炉排熱利用によるエネルギー削減	つくば事業所
高含水汚泥廃棄処分改善による費用、廃棄物排出量削減	富士事業所
粉体塗料のリユース化による産業廃棄物削減	関西オカムラ
<b>サステナブル事業推進の部(製品・サービス・物件提案など)</b>	
省力化アタッチメント「SUGスライドレール棚」の開発と拡販	商環境事業本部 富士事業所
インバーター冷凍機搭載催事ケースの開発	商環境事業本部 御殿場事業所
カーボンオフセットプログラム立上げ	オフィス環境 事業本部 他
<b>サステナブルな社会に向けた活動の部(従業員、地域社会、学校など)</b>	
地域連携による部活動指導を通じた教育支援	オカムラ ソフトボール部 (御殿場市内事業所)
環境とSDGsに関わる人材の育成と地域貢献	エヌエスオカムラ

## 環境コミュニケーション

事業活動に関する環境情報を開示し、ステークホルダーの皆さまとの双方向のコミュニケーションに努めることで、グループ全体の環境活動の充実につなげています。

オカムラグループでは、1995年に環境パンフレット『豊かな未来へ』を発行して以来、さまざまな媒体を通じて環境情報を発信しており、環境関連のイベントやオカムラの新製品発表会でも環境への取り組みを紹介するなど、環境コミュニケーションの充実に努めています。また、環境への取り組みに関して、ステークホルダーの皆さまから寄せられたご意見・ご提案を、関連部門にフィードバックし活動に反映させるとともに、より充実した情報発信に役立てています。

『オカムラグループ Sustainability Report 2022』は、環境省が主催する第4回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門において、企業規模や業種特性に照らして優れた取り組みを行っている企業として「特別賞」を受賞しました。



## 環境活動を通じた地域社会との共生

オカムラグループのものづくりや事業活動で得た知見を活かした環境教育の実施、地域の環境保全活動への参画などを通じて、地域社会との共生を図るとともに環境意識の向上に貢献しています。

### 小学校での環境出前授業の実施

オカムラは、子どもたちの環境意識の向上を目的に、従業員が小学校に出向いてオカムラが蓄積してきた知見などをともに授業を行っています。授業の中では、児童たちにとって身近な学校の机とイスを題材に、世界と日本の森林の現状や資源の有限性を伝え、環境問題が身近な問題であることを学び、自分たちにできることを見つけて行動する気付きの場を提供しています。（関連 ▶ P.64）



木材についての知識を深めながら、ものづくりを行う授業を実施

### 環境出前授業実績

実施年度	対象人数	対象学校数
2007-2017	3,340名	40校
2018	450名	7校
2019	444名	4校
2020	197名	4校
2021	506名	8校
<b>2022</b>	<b>865名</b>	<b>13校</b>

## 関東学院大学での寄付講座

オカムラが会員となっている横浜グリーン購入ネットワーク\*が実施している寄付講座で2021年に引き続き講師を務め、「木材利用によるサステナビリティの推進」をテーマに、学校法人関東学院大学にてオカムラの環境への取り組みを紹介しました。

\* 横浜グリーン購入ネットワーク：地域とのつながりを大切にし、市民と企業・団体、行政が協力して環境に配慮した製品・サービスの購入や提供を推進していくことを目的に活動するネットワーク（グリーン購入ネットワーク（GPN）の横浜における地域組織）

 横浜グリーン購入ネットワーク  
http://www.y-gpn.org

## 産学官連携による木育の推進と地域活性化

オカムラは、山形県小国町および東北芸術工科大学と連携し、木育や地域における木材利活用の推進を目的とする活動の一つとして、学生がデザインした家具を町内産の材を用いて小国町内の施設で製作し、同町の3歳児に贈呈する「ファーストファニチュア事業」を2018年から継続しています。



第5回ファーストファニチュア贈呈式